

市民が主役のまちづくりを目指して!

令和
元年度

まちづくり懇談会レポート!

11月14日から1月30日までの間、7会場で83人の方にご参加いただき、まちづくりについての意見交換を行いました。

お寄せいただいた貴重なご意見を今後の市政に活かしながら、活力ある地域づくりを進めていきます。



●市民からの質問・・・

市民
から

●市からの回答・・・

市
から

●問合せ/総務課 広報広聴係 ☎ 44-1111 (内線1353)

食ラボの 予約について

※食産業振興センター



市民 食ラボで研修を受けたりするが、予約が非常に取りにくい。ホームページなどで予約状況がわかるようにしてほしい。

市 食ラボについては、市外の利用者も多いため予約が取りにくい状況である。予約状況をホームページに載せるとなると随時更新が必要になるかと思うが、それをできるのかも含めて検討する。

⇒現在は、ホームページの「[公共施設予約状況](#)」から予約状況を確認できます。

地場産品の 学校給食への活用について



市民 地場産品について、どれくらい学校給食などに利用されているものなのか。

市 ●給食などでの利用については、食育計画で、地場産品を20パーセント使うことを目標にしており、現在は18パーセント程度使用している。米に限っては100パーセントとなっており、野菜は高冷地野菜などを使用している。

●出来るだけ地場産品を利用するよう取り組んでいるが2千食以上の調理となると、早く加工できるものである必要が出てくる。給食の材料費をあまり上げるわけにもいかない。市民の皆さんの協力を得られるのであれば、ありがたく利用を検討していきたいと思う。

人口増加へ向けた 取り組みについて

市民 平川市は、災害が少ないうえ、下水道の整備が進んでいるため住みやすいまちだと感じている。市として、人口を増やすにあたりどのようなPRをしているのか。



市 ●総務課内にシティプロモーションの部門を設けて、SNSなどを通じた情報発信を行っている。また、転入してきた方と一緒に東京や仙台に赴いて、平川市での暮らしぶりを紹介するというイベントを年に2、3回行っている。

●市で行っている「すこやか住宅支援事業」という助成制度を利用して住宅を建てる世帯も多い。市外・県外からの転入にもつながっている。さらに、民間の宅地開発がなされる際、住宅地内の道路建設に対しても助成を行っている。

●子育て支援の施策については、国の予算で保育料の無償化が始まったが、市では6年前から第2子以降の保育料を無料としてきた。国の制度では、保育料は無料だが、副食費を払わなければいけないが、市ではその副食費分も負担しなくいいように支援している。

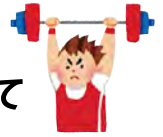
町会加入について

市民から 転入してくる世帯があっても、町会に加入してもらえない。市の方で、転入届を出した世帯に対して、町会に加入するかどうか確認してほしい。

市から ● 転入届があった場合、町会加入キャンペーンのチラシを配布しPRしている。町会加入取次依頼書も同封しており、加入したいという場合は、町会長に取次ぎを行っているが、町会加入の意思確認はしていない。強制はできないものであることをご理解いただきたい。

● 町会ごとに特色があると思うので「こんなイベントがある」「こんな役割が求められる」と個々の内容を説明したうえで、地域づくりの一環として町会に加入していただけるよう今後も案内をお願いしたい。

2025年 青森国体について



市民から 2025年に青森県で国体が開催されるが、平川市では何か競技は行われるのか。

市から 平川市では「ウエイトリフティング」が行われる予定である。その他には、公開競技である「グラウンドゴルフ」と「エアロビクス」について予定している。

ねぶたの運行について

市民から 将来的に、ねぶたまつりの運行を県道大鰐浪岡線まで延ばすと聞かすが、いつ頃から、そして、どのようなコースになる計画なのか。

市から 平賀駅前通りの電線の地中化を令和3年までに完成させるよう進めているが、背景には、大型ねぶたが下げないと運行できないこと、10市大祭典の開催を予定していることがある。10市大祭典では、人を分散させる安全対策も兼ねて、県道大鰐浪岡線までコースを延長して運行させたいと思っている。いずれは、平川ねぶたまつりにおいても延長させたい。コースは協議により決めていく。

まちづくり懇談会の様子



2月のまちづくり懇談会日程

皆さまがお住まいの地域に市長が出向き、意見を伺う「まちづくり懇談会」を次の日程で開催します。ぜひ、ご近所お誘いあわせのうえでお来場ください。

地区名	開催場所	開催日
本町	本町 コミュニティセンター	2月20日(木)

※開催時間は18時30分から20時までの予定です。
※都合により開催場所、開催日などが変更となる場合があります。

◆これまでのまちづくり懇談会の内容については、市役所本庁舎、尾上総合支所、碓ヶ関総合支所、葛川支所でご覧になることができるほか、市ホームページで公開しています。

トップセールス in 東京

市長と一緒に、東京で平川市産リンゴをPRしてきました！



1月25日、平川市の知名度向上と特産品であるリンゴの販路拡大のため、東京都においてトップセールスを実施しました。

●東京青果

セリ前に市場関係者にリンゴの試食宣伝を実施。長尾市長はあいさつで「平川市産のリンゴは品評会で最高賞である農林水産大臣賞を通算24回受賞しており、おいしいと評判」とPRしました。



●マルエツ新糞谷店

リンゴの試食販売を実施。生産者でもある長尾市長にうれしいリンゴの見分け方を聞かれる方や市長が選んだリンゴを購入する方もいました。「新鮮でおいしい」という声も多く聞かれました。

